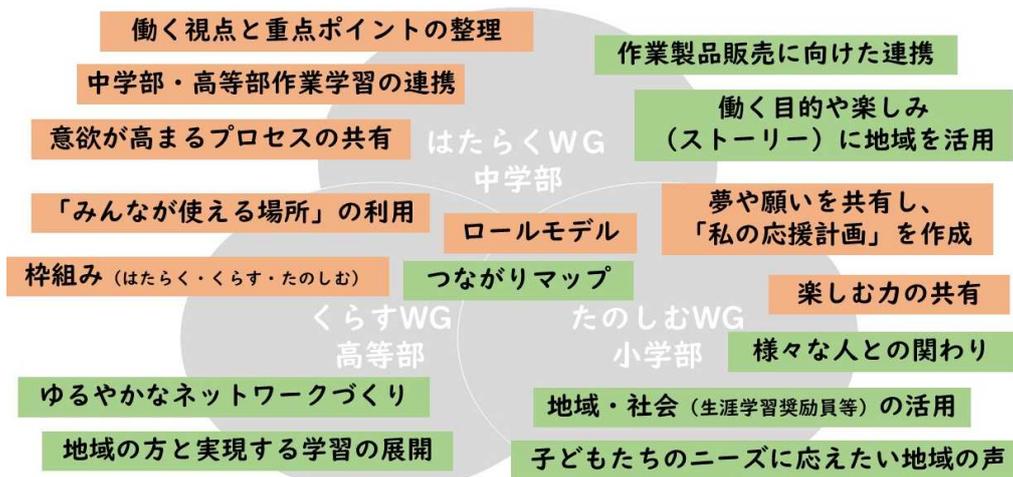


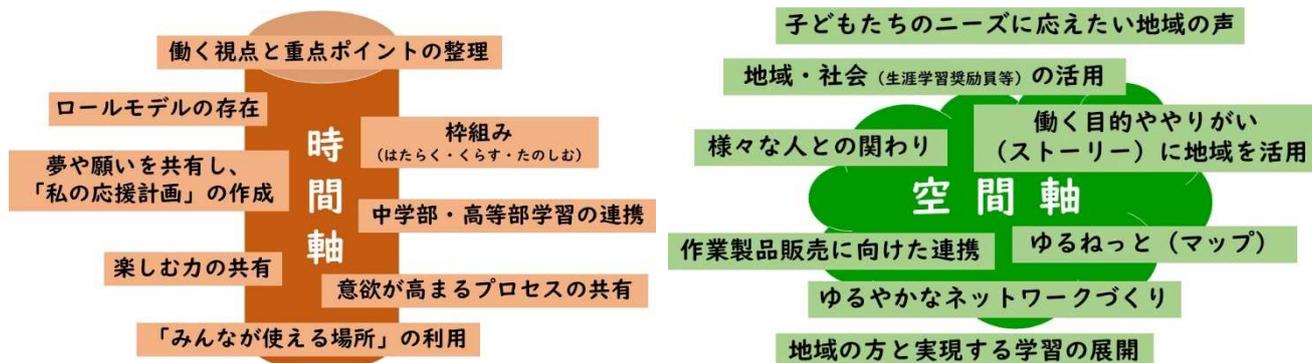
研究のまとめ

1 教育課程編成への提言

昨年度の基礎研究に基づき、今年度は「生涯学習力」を高める教育課程を編成するために、全校縦割りでは「はたらく」「くらす」「たのしむ」の3つのワーキンググループ（以下WG）をつくり、LLミーティングを中心に研究を推進してきた。研究のゴールが教育課程編成であるため、縦割りグループだけでなく、学部単位や必要に応じて全体で共有する機会も設定した。各WG、各学部の話合い・実践から見えてきたことをキーワードで挙げると次のとおりである。



これらはどれも、生涯学習力を高めるために必要なこと、教育課程を編成するための鍵になる。これらのキーワードを「時間軸」「空間軸」の2つの軸で整理すると、次のようになる。



「時間軸」では小学部・中学部・高等部という時間の流れ、児童生徒個々の成長につながるキーワードが多い。これらは時間の経過や学習によって積み重なっていくが、積み重ねの機会を教育課程の中に意図的に入れ込むことで、より効果的に積み重ねられると期待できる。

「空間軸」では児童生徒、学校を取り巻く環境、地域社会という空間的な広がりに関するキーワードが多い。児童生徒の「生涯学習力」を高めるためには、学校がどんどん地域に開かれて、地域と結び付いていくことが大切であると考えられる。

これら2つの軸を、木の幹をイメージした「学びの積み重ね」と木の枝葉をイメージした「学びのネットワーク」とし、本校の教育課程編成のベースである「私の応援計画」の上に重ねると右のようになる。「私の応援計画」にしっかりと支えられ、学びの積み重ねを行うことで木の幹の太さが増し、ぐんぐん上へと成長していく。同時にたくさんの枝や葉が成長し、学びのネットワークの広がりも見られるようになる。

この図を、児童生徒の「生涯学習力」を高める教育課程編成のイメージ図とした。

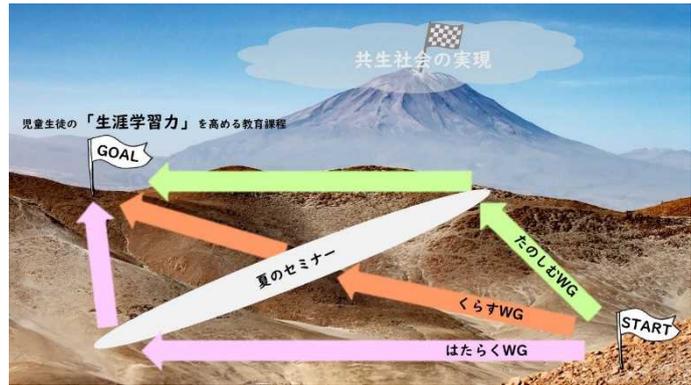


2 成果と課題

(1) 成果

年間14回のLLミーティング(実施単位はWG,各学部,全体)を実施した。研究の中心となるWGは、「はたらく」「くらす」「たのしむ」の3グループを編成した。昨年度のWGでの研究に引き続き,全職員が教育課程を編成するという高い意識で研究に参加することができた。

また,見えにくい「生涯学習」「教育課程編成」というテーマ設定だったが,授業や児童生徒の姿という学校の中の視点だけではなく,学校卒業後の姿(働く・暮らす・楽しむ)も含めて検討したことで,職員一人一人が生涯学習についての理解を深め,広い視野で教育課程編成を考えることができたとともに,実践場面で児童生徒の主体的にヒト・モノ・コトに関わり学ぼうとする姿をたくさん見ることができた。今年度の研究を生かし,来年度実践していく教育課程は次のとおりである。



興味・関心を広げ,余暇の充実につなげたい
豊かな人との関わりを通して,楽しむ力を育みたい

小学部

Enjoy タイムの新設

生涯学習奨励員の活用



働く意欲を高めるストーリーをつくりたい
自分自身を知るための気づきの機会を増やしたい

中学部

作業学習作業班の再編成

クラフト班,ハーブ加工班,紙工班

クラフト班,ソーイング班,ファーム班

中高生徒代表者会議の設定



自ら課題に向かい,解決しようとする力を育てたい
何につながる学習か意識できるようにしたい

高等部

問題発見・解決型学習
「Dスタディ」の新設

教育課程の枠組みを

「はたらく」「くらす」「たのしむ」に変更



地域と共に子どもを育て,共生社会を目指したい
地域を知り,地域を活用するためのツールを作りたい

全体・その他

地域の積極的な活用

マップ作成と活用



(2) 課題

「はたらく」「くらす」「たのしむ」の3つのWG中心の研究だった。学部単位や全体でのLLミーティングの機会はあったが,各WGの研究内容が多いことと,WGごとに進め方が異なったために,十分に共通理解するには至らなかった。また,今年度は教育課程編成に力を注いだため,授業づくりや児童生徒の変容を検証する場面が少なかったという意見もあった。今後,新たな教育課程での実践を重ね,児童生徒の「生涯学習力」が高まったかどうか,そして「生涯学習力」を高めるための教育課程となっているかどうかの検証・評価・改善をしていきたい。

【引用・参考文献】

- (1) 秋田大学教育文化学部附属養護学校 「生活する力を高める指導」研究紀要第 20・21・22・23・24・25 集, 1994・1995・1996・1997・1998・1999
- (2) 秋田大学教育文化学部附属養護学校 「個々の指導目標を最適化する試み～個別指導計画書の作成と活用～」研究紀要研究紀要第 26・27・28 集, 2000・2001・2002
- (3) 秋田大学教育文化学部附属養護学校 「指導内容や指導方法の改善に役立つ評価の在り方」研究紀要第 29・30 集, 2003・2004
- (4) 秋田大学教育文化学部附属養護学校 「ライフステージに応じた教育的ニーズにこたえる教育課程づくり」研究紀要第 31・32・33 集, 2005・2006・2007
- (5) 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校 「教育的ニーズに応える授業づくり」研究紀要第 34・35 集, 2008・2009
- (6) 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校 「子どもが主体的に生きる姿を目指した授業づくり」研究紀要第 36・37 集, 2010・2011
- (7) 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校 「人とかかわる力を高める授業づくり」研究紀要第 38・39, 40 集, 2012・2013・2014
- (8) 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校 「ひと・地域・未来をつなぐ」研究紀要第 41・42・43 集, 2015・2016・2017
- (9) 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校 「本人主体の個別の教育支援計画(私の応援計画)を活用した教育課程の編成」研究紀要第 44・45 集, 2018・2019
- (10) 秋田大学教育文化学部附属特別支援学校 「児童生徒の『生涯学習力』を高める教育課程の編成」研究紀要第 46 集, 2020
- (11) 有賀三夏(2018) 「自分の強みを見つけよう 『8つの知能』で未来を切り開く」ヤマハミュージックメディア
- (12) 上岡一世(2013) 「キャリア教育を取り入れた特別支援教育の授業づくり」明治図書出版
- (13) NPO法人 障がい児・者の学びを保障する会(2019) 社会(地域・福祉・企業の連携システム)が支える, 学校教育終了後から生涯にわたる継続的な学びの実践研究事業 ~コミュニケーション経験を基盤とする生活・就労支援プログラムの構築 ~(報告書)
- (14) 亀井 浩明・有園 格・佐野 金吾(1997) 「中教審答申から読む 21 世紀の教育」ぎょうせい
- (15) 鯨岡 峻(2005) 「エピソード記述入門 実践と質的研究のために」東京大学出版会
- (16) 櫻井茂男(2017) 「自立的な学習意欲の心理学 自ら学ぶことは,こんなに素晴らしい」誠信書房
- (17) 志水宏吉・若槻健(2017) 「『つながり』を生かした学校づくり」東洋館出版社
- (18) スティーブ・ホルバーン ピーター・M・ピーツェ(2005) 「PCP(本人を中心に据えた計画づくり) - 研究, 実践, 将来の方向性 - 上巻」相川書房
- (19) スティーブ・ホルバーン ピーター・M・ピーツェ(2007) 「PCP(本人を中心に据えた計画づくり) - 研究, 実践, 将来の方向性 - 下巻」相川書房
- (20) 全国特別支援学校知的障害教育校長会(2019) 「知的障害特別支援学校における深い学びへのアプローチ」東洋館出版社
- (21) 武富博文(2017) 「知的障害教育におけるアクティブラーニング」東洋館出版社
- (22) 田中良三・藤井克徳・藤本文朗(2016) 「障がい者が学び続けるということ 生涯学習を権利として」新日本出版社
- (23) 丹野哲也・武富博文(2018) 「知的障害教育におけるカリキュラム・マネジメント」東洋館出版社
- (24) 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2018) 「障害者の生涯学習活動に関する実態調査」平成 29 年度文部科学省委託事業 「生涯学習施策に関する調査研究」

- (25) 富山大学人間発達科学部附属学校園「専門家として学び合い高め合うための校内研修の在り方」共同研究プロジェクト(2019)「実践！特別支援教育のアクティブラーニング 子どもの内面を捉え、学びの過程に寄り添う教員研修」中央法規出版
- (26) 内閣府(2020)「障害者基本計画」
- (27) 中島好美・奥住秀之・國分充(2014)「知的障害児・者におけるプランニングの特徴と支援」東京学芸大学平成25年度広域科学教科教育学研究経費研究報告書「知的障害児のプランニングと抑制機能の支援に関する基礎的・実践的研究」
- (28) 西村修一(2015)「教育における合理的配慮の考え方の課題と合理的配慮決定のプロセス」
- (29) パウンド(2019)「60分でわかる！SDGs超入門」
- (30) 花熊暁(2014)「進まぬ、個別的教育支援計画に迫る」特別支援教育研究2
- (31) 藤井慶博(2016)「個別的教育支援計画の作成と活用に関する現状と今後の方策～特別支援学校教員に対する質問紙調査から～」秋田大学教育文化学部紀要
- (32) 古井克憲(2010)「知的障害者に対するパーソン・センタード・プランニングの実践～特別支援教育や障害者地域生活における『本人を中心に据えた計画づくり』を目指して～」和歌山大学教育学部紀要 教育科学 第60集
- (33) 本田恵子(2006)「脳科学を活かした授業をつくる～子どもが生き生きと学ぶために～」みくに出版
- (34) 丸山啓史(2016)「知的障害者の余暇をめぐる状況と論点」障害者問題研究 第44号巻 第3号
- (35) 文部科学省(1981)「生涯教育について(答申)」中央教育審議会
- (36) 文部科学省(2010)「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」
- (37) 文部科学省(2010)「特別支援教育の在り方に関する特別委員会 論点整理」
- (38) 文部科学省(2012)「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 報告」
- (39) 文部科学省(2012)「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告(第一次まとめ)」
- (40) 文部科学省(2016)「教育課程企画特別部会 論点整理」
- (41) 文部科学省(2016)「個別の指導計画」と「個別的教育支援計画」について
- (42) 文部科学省(2017)「特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部)」
- (43) 文部科学省(2017)「特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)」
- (44) 文部科学省(2017)「特別支援学校学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部)」
- (45) 文部科学省(2017)「特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領」
- (46) 文部科学省(2018)「学校卒業後における障害者の学びの推進方策について(論点整理)」
- (47) 文部科学省(2018)「障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について」
- (48) 文部科学省(2018)「第3期教育振興基本計画」
- (49) 文部科学省(2019)「障害者活躍推進プラン -障害のある人の力を生かして未来を切り開くために必要な5つの政策プラン～」
- (50) 文部科学省(2019)「障害者の生涯学習の推進方策について(通知)」
- (51) 文部科学省(2019)「障害者の生涯学習の推進方策について 誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して (報告)」
- (52) 文部科学省(2019)「特別支援学校高等部学習指導要領」
- (53) 涌井恵(2014)「学び方を学ぶ 発達障害のある子どももみんな共に育つユニバーサルデザインな授業・集団づくりガイドブック」ジアース教育新社
- (54) 涌井恵(2015)「発達障害のある子とUD(ユニバーサルデザイン)な授業づくり 学び方にはコツがある！その子にあった学び方支援」明治図書出版